

京都デジタルリマスター人材育成事業

フィルムや映像の“残し方”を知るオンラインセミナー

# フィルム・ リノベーション・ トーク

事前申込制

参加費  
無料

会社の製品の紹介や過去のCM素材、  
学校行事の記録、博物館の所蔵品など……  
倉庫に眠っているフィルムはありませんか？

本セミナーは今も眠っている「映像メディア」を  
どうすれば企業や社会活動に幅広く活用できるか、  
そのヒントを知るオンライン配信セミナーです。

フィルムや映像の“残し方”、一度、考えてみませんか。

【セミナー開催日時】

**2.14. mon**  
10:00～

「映像資料が文化的価値を持つ」とは、  
どういうことなのか

**2.15. tue**  
10:00～

1. 映画フィルム・磁気テープ・デジタルデータの取り扱い講座(入門編)  
2. 企業映像が切り取る『時代の記録』の活用

**2.16. wed**  
10:00～

1. 会社に眠る資料フィルムの活用法  
2. フィルム出張鑑定・活用プロジェクト

【アーカイブ配信】

**2.14. mon 10:00～2.20. sun 23:59**

【申込方法】

右のQRコードもしくはWeb検索で  
専用フォームからお申し込みください。

京都 デジタルリマスター 検索



申込み期限 **2022年2月17日(木)まで** 視聴URLはお申し込み完了後にお知らせいたします。

デジタルリマスターとは？

フィルムや旧式のメディアに記録された映像を、最新のデジタル技術を用いて再度マスタリングを行う作業などを指します。この作業を行うことで、昔の人の表情、息吹までが蘇ります。



Before



After



【主催】京都府

【共催/協力】㈱IMAGICAエンタテインメントメディアサービス、京都クロスメディアパーク推進会議

# FILM RENOVATION TALK CONTENTS



フィルム・リノベーション・トーク  
こんな方におすすめ

## 2.14. 「映像資料が文化的価値を持つ」とは、 どういうことなのか

mon  
10:00~

映像資料が文化的価値を持つためには、そこに多くの人が共有可能な価値があることを見出し、価値を伝達することが必要になります。その流れをガイドするのが、映像が与える独自の「親近感」。事例を通して、利活用に向けた映像資料の捉え方を考えていきましょう



【講師紹介】  
**とちぎ あきら氏**  
日本映像  
アーキビスト協会会長

2003年より15年間、東京国立近代美術館フィルムセンター(現・国立映画アーカイブ[NFAJ])研究員として、映画フィルムの保存やアクセス対応などの仕事に従事。現在、日本映像アーキビスト協会会長を務めるとともに、NFAJ 特定研究員として配信事業に携わっている。

## 2.15. 1. 映画フィルム・磁気テープ・デジタルデータの 取り扱い講座〈入門編〉

tue  
10:00~

フィルムやテープを持っているけれど、どのようにデジタル化、保管したらいいのかわからない…リスト化、デジタル化時・デジタル化後の留意点について、ラボの視点からお話します。お悩み解決のヒントにぜひ。



【講師紹介】  
**藤原 理子氏**  
株式会社IMAGICA  
エンタテインメントメディアサービス

メディア営業部フィルム・アーカイブ営業グループ。主に企業における視聴覚資料の保存・デジタル化・データの長期保管のコーディネートを担当。

## 2. 企業映像が切り取る『時代の記録』の活用

現代のビジネスに欠かせない映像プロモーション。そこで切り取られた光景は、時代の記録としての重要な価値を秘めています。SNS時代にマッチした企業の映像資産発信と、それを通じ得られるメリットに着目します。



【講師紹介】  
**吉永 憲之氏**  
合同会社グラフィファス  
代表・プロデューサー

TDK コア、ソニー PCL で映像エディターとしてのキャリアを積み、2008年にGRAPHASを立ち上げ。現在は京都・東京を拠点に、企業プロモーション、広告・イベント、番組等の映像制作を中心に手掛ける。

## 2.16. 1. 会社に眠る資料フィルムの活用法

wed  
10:00~

社歴の長い会社にこそ、過去の先輩方が遺してくれた貴重な資料が残っている可能性があります。会社がいれば当たり前で特別と感じないものも、アーカイブ化することで社内外に新しい価値を発信する宝物となりえます。今回、吉乃川に長年眠っていたフィルムを活用した事例をご紹介します。



【講師紹介】  
**横本 昌之氏**  
吉乃川株式会社  
経営戦略部

創業1548年。新潟長岡で470年に渡り日本酒を造り続けている蔵元。近年では日本酒造りだけでなく、顧客との直接的接点の場として「酒ミュージアム蔵蔵」という観光施設を運営。過去CMをデジタル化し、館内の大型プロジェクターで放映中。

## 2. フィルム出張鑑定・活用プロジェクト

長い歴史を有する丹後の織物の職人たちの倉庫に“何が映っているのか誰も知らないフィルム”が眠っていました。果たして何が映っているのか?そして、映っている映像が未来にもたらすものとは…?!ドキュメンタリーでお届けします。

【事例紹介】  
**丹後織物工業組合**

京都府北部の丹後地方にある織物の職人たちが集う。丹後地方は1300年以上前からシルク生地の産地としての歴史を有し、組合では直営の加工場を有し、世界的にも希少な生地づくりの技術を今日まで紡いでいる。



- 倉庫に眠るフィルムってどうしたらいいの?
- 見たことのないビデオテープを捨てたい!でも捨てるなら一度中身を確認したい。
- そもそも眠っているフィルム(映像メディア)は貴重なものなの?
- フィルムをデジタルするとどんないいことがあるの?
- 過去の映像の活用方法が分からない
- フィルム映像のデジタル化に興味のある方

関連イベント

参加費無料



## フィルムに触ろう体験会

フィルムに触れてみませんか?手回し再生の体験や、リマスター作品の上映、専門家の講演を実施。また、フィルムの出張鑑定も開催。フィルムを持ち込んで、劣化状態の確認や、保存・データ化の方法などを専門家に相談できます。

【開催日時】

**2.19. sat 13:00~19:00**

※新型コロナウイルス感染症の状況によって実施。詳細はホームページをご覧ください。

【場所】

京都府文化博物館 3階フィルムシアター前  
〒604-8183 京都府京都市中京区東片町623-1

各イベントへのお申込み

下記 URL より事前にお申し込み下さい。

京都府ものづくり振興課ホームページ  
<https://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/news/remaster.html>



お問い合わせ

京都府商工労働観光部  
ものづくり振興課

☎075-414-4852

【平日 9:00 ~ 17:00】

✉ [monozukuri@pref.kyoto.lg.jp](mailto:monozukuri@pref.kyoto.lg.jp)

【主催】京都府 【共催/協力】(株)IMAGICA エンタテインメントメディアサービス、京都クロスメディアパーク推進会議